



# 銚子ジオパーク推進 市民の会ニュース

第78号  
2017年12月21日

連絡先 茂木

TEL 09089472869

<http://choshi-geopark.com/>

## A、実施の経過

伊藤 小糸

十一月十九日の午前  
九時から三時間、市民  
の会の伊藤修二さんを  
講師として、会主催の

巡査が行われました。健脚向きコースと予告して募集したところ参加者は十五名、うち女性は七名でした。駐車場の都合から、会長の車を始めとする三台に分乗して集合し、市清掃センター脇から徒歩で、隧道を抜けて屏風ヶ浦の海岸に向けて出発しました。

潮時を選んでもなお潮位も高めでした。さらに十月の台風二十一号の影響で、屏風ヶ浦の崖は随所で崩落していました。

始めの裡は消波ブロックの上にコンクリート板を載せた消波堤の上を進みましたが、内濠から外海方向へ進むに連れ、徐々に板が海側に傾き、波飛沫を浴び

# 屏風浦遊繪

## B、講師講評（伊藤修一さん）

## 屏風ヶ浦巡査のまとめと今後

C、参加者の意見  
(要約)

屏風ヶ浦の写真を送つてくれる講師のリスクも実感できる。(8)遭難に備えて、目立つ色のジャンパーとヘルメット

⑭ 消波堤の上に居た釣り人に会のロゴ入りジャンパーが目立ち、軌跡の元になるかと心配した。

堤から下りる場所を変更しましたが、段差があつて苦労された参加者の方もいたようです。潮位は午前中に干潮があり、最終的に予定通り、大谷津切通下の消波堤を登つて無事帰ることができました。

⑥屏風ヶ浦は遠くから見れば美しいが近寄れば荒々しい、と今更ながら気付いた。  
⑦少なくとも年に一度は、今回のよう剥き出しの自然を観察できる企画を実施して欲しい、



### 消波ブロックを登る

が大波を被つて危険になつたため、途中から消波ブロックを伝つて砂浜へ下りました。この時点で、リタニア組四名は元來た道を戻りました。残る男子七名女子四名は、波屏風ヶ浦の中でも最も変化に富み、色々なもののが大波を被つて危険になつたため、途中に消波ブロックを伝つて砂浜へ下りました。この時点で、リタニア組四名は元來た道を戻りました。残る男子七名女子四名は、波屏風ヶ浦の中でも最も変化に富み、色々のものを観察できます。さらに、一月前の台風の影響で大きな崩落が起き、崩落発生直後の状況を観察できました。

② スランプ構造が沢山  
あつて驚いた。

③ 春日層の剥離の様子  
に興味を持った。

④ 消波堤があつても、  
大雨が降れば崖は大規  
模に崩落することを寒  
感した。

⑤ イソギクに彩られ、  
イソヒヨドリやアカテ  
ガニが暮らす人気の屏  
風ヶ浦が、緩やかな衰  
退過程にあることを確  
認し、今後の推移を見  
守りたいと思つた。

トの着用が正解だった。  
⑨ 振挫する人が出なくてホントでした。

⑩ 長靴の場合は滑るので、アイゼン装着が必要だと痛感した。

⑪ 消波ブロックの上り下りには、ロープを持参すれば楽だった。

⑫ 似通った景色が続途中から前進する意欲を無くした。

⑬ 崖や砂浜に溶け込む色の服装で、部外者に目立たないイベントにして欲しかった。

(11) 今回は会の主催た  
たが、今後は有志主催  
にすれば、参加ハード  
ルの高いイベントに対  
する会への批判を回避  
できる。

⑯ 事前説明会を開いて、  
現地情報と装備と岩場  
歩きや浅瀬徒渉のコツ  
を伝え、万一のための  
支援体制を整えてリスク  
を減らした上で、今  
後とも地学的な巡検を  
開催出来れば良いと思  
う。